

ステークホルダーとのコミュニケーション

住友化学は、株主・投資家、お客様、取引先、従業員、コミュニティなど、多様なステークホルダーとの信頼関係を大切にしています。皆様からのご意見や期待を真摯に受け止め、それを事業活動に反映させるために、多様なコミュニケーションの場を設けています。

ステークホルダーとのかかわり



ステークホルダーとのコミュニケーション機会

ステークホルダー	アプローチ方法
株主・投資家	●株主総会の実施 ●各種説明会（決算、経営戦略等）の実施 ●個人投資家説明会の実施 ●統合報告書等の刊行物の発行 ●ウェブサイトおよびSNSなどによる情報提供
お客様	●営業活動を通じたコミュニケーションや品質保証のサポート ●ウェブサイトおよびSNSなどによる情報提供 ●お客様相談窓口によるサポート
取引先	●購買活動を通じたコミュニケーション ●お取引先様情報交換会の実施 ●サステナブル調達チェックシートを用いたモニタリング ●問い合わせ窓口によるサポート
従業員	●中央労使協議会、事業場労使協議会の実施 ●「すみか『こうします』宣言」推進労使委員会の設置 ●各種研修の実施 ●社報およびイントラネットによる情報提供
コミュニティ	●国際イニシアティブへの参画（UNGCなど） ●ウェブサイト等を通じた情報提供 ●地域との意見交流会、工場見学会などの実施 ●コミュニティ貢献活動の実施

企業価値向上に向けた対話の実施

当社は、国内外の株主・投資家の皆様に、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けた経営方針、事業戦略および業績動向等についてご理解いただくため、トップマネジメントが中心となり積極的な情報開示と双方向のコミュニケーションを行うことで説明責任を果たし、市場からの信頼の維持・向上を図るとともに、適正な株価形成と企業価値向上に努めています。

2024年度は、上半期においては、業績V字回復に向けた諸施策の進捗やペトロ・ラービグの財務リストラ策の発表など、構造改革の進捗を中心にご説明する機会を設けました。下半期には、成長ドライバー2事業の事業説明会、新中期経営計画の説明会を開催することで、当社が描く構造改革後の長期的な成長軌道をお示しすることに努めました。また、海外機関投資家への訪問や投資家工場見学会を行い、株主・投資家の皆様との建設的な対話を実施することができました。

対話の主なテーマ

短期集中業績改善策 ●事業再構築 ●政策保有株式の売却	抜本的構造改革 ●住友ファーマの立て直し ●ペトロ・ラービグ含む石化事業の立て直し	中長期成長戦略 ●2025-2027年度 中期経営計画 ●2030年以降の事業ポートフォリオ
--	--	---

2024年度の主な対話実績

説明会

	登壇者	回数	参加者数・Live視聴数
経営戦略説明会	社長	1	1,496
ペトロ・ラービグに関するプレスリリースの臨時説明会	社長	1	269
上期決算および経営戦略説明会	社長	1	553
事業戦略説明会（アグロ&ライフソリューション、ICT&モビリティソリューション）	事業部門長	1	267
再生・細胞医薬事業の合併会社RACHTERA設立に関する説明会	社長、住友ファーマ社長	1	72
中期経営計画説明会	社長	1	528
電話カンファレンスでの決算説明会	IR担当役員	3	1,286

投資家との面談

	対応者	回数	参加者数
投資家との面談	社長、IR担当役員、IR担当部長ほか	—	647
うちSR、ESG面談	社長、IR担当役員、IR担当部長ほか	—	47

スモールミーティング

	対応者	回数	参加者数
社長によるスモールミーティング	社長、事業部門長	1	23
事業部門等によるスモールミーティング	事業部門長、IR担当役員、IR担当部長ほか	1	72

個人投資家説明会

	対応者	回数	参加者数
個人投資家説明会（動画配信を含む）	IR担当役員、IR担当部長	5	—

社内へのフィードバックと改善例

当社は、IR活動の中で得られたアナリスト・投資家のご意見やご指摘を社内各層にフィードバックし、当社の経営戦略・事業計画や企業価値等について外部視点での評価を共有することで、競争力強化・経営の改善につなげています。

フィードバック	内容
取締役会報告	決算説明会や投資家面談等で得られたご意見、当社に対する評価について、取締役会で共有しています。
IR広報連絡会	四半期に一度、各事業部門、本社部門の部長クラスに対し、決算発表や説明会に対する投資家の反応や意見等を共有するほか、投資家・メディア向けイベントの企画内容等について意見交換しています。

実際のコミュニケーション事例

株主・投資家**工場見学会の開催**

2025年2月にコロナ禍以降初となる投資家・アナリスト向け工場見学会を実施しました。ICT&モビリティソリューション部門の国内主要拠点である大阪工場を訪問し、半導体ビジネスの主要製品であるフォトレジストの製造設備や評価設備を見学いただきました。当社の技術力や品質にかけの想いを直接体感いただくことで、今後の事業展開への期待を抱いていただけたのではないかと考えています。また、将来の柱として育成中のアドバンストメディカルソリューション部門の子会社S-RACMOの施設も訪問しました。ここでは再生・細胞製品の商用生産施設などを見学いただき、当社の新たな成長分野の可能性を感じていただく機会を提供しました。

取引先**お取引先様情報交換会の実施**

当社では主要取引先の皆様と定期的に情報交換会を開催し、住友化学グループが取り組むサステナビリティ活動について紹介しています。2024年度は、国内の主要サプライヤー51社に参加いただきました。情報交換会では、当社のGHG排出削減に関する取り組みを説明し、各社における取り組みと情報共有への協力をお願いしました。また、サステナブル調達の取り組みの説明および協力の依頼や、製品カーボンフットプリント算出システム（CFP-TOMO®）の紹介も行いました。今後もこうした協力関係を活かし、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



工場見学会の様子（春日出）